# 平成25年度 緑苑 事業報告

### I 概要

#### 1) 利用者動向

- ・特養は、18名(内ユニット型 4名)の入所者を迎えたが、退所者 17名(永眠 15名・長期療養 2名)や入院者の変動により稼働率 93.6%に留まった。
- ・短期入所は新規利用者の増加やリピーターの利用期間が定着し稼働率97.9%と利用が安定した。
- ・養護は年度当初45名入居であったが、退所者7名に対し入居6名と入居候補者減の状況が続いた。
- ・自立支援ショートは緊急利用(虐待等)13件の一時避難的な利用はあったが、稼働率61%に留まる。

#### 2) 職員·育成

- ・職員体制は、年度当初101名(正職員55名、再雇用3名、準職員43名)であった。看護職員の定着がなく派遣看護師で対応したが、正職員採用には至らなかった。年度末には常勤職員2名が退職した。
- ・増設当時採用職員や新人職員に対し、基本スキル研修等を活かし定常業務を確立するとともに、寄り添いながら援助にあたれる介護職の育成に努めた。
- 3) 平成25年度事業計画についての報告
  - ・入居型施設として、利用者が安定した生活ができるような環境を提供した。
  - ・地域福祉の拠点施設として、地域交流スペースを活用し介護予防事業や法人企画の安心シニア塾を開催したことで、「困った時には地域包括に」の認識が浸透した。

#### 4) 平成25年度重点の動き

- ・法人主催の研修や監事による事業監査を通し、事業の基準に基づく業務管理体制整備に努めた。
- ・一部ユニット型特養廃止(25 年度末)に伴い、地域密着型特養指定申請のため基準の再確認や運営規程等を整えた。

### Ⅱ 事業別動向

于未加到的		ı
区分	成果	課題
特養	フロア間の情報共有に努め、定常業務の再確認をし、安	過ごし方の充実、安定し
	定したケアができるよう基礎を作った。また計画的な教	たサービス提供のための
	養娯楽活動を実施し、楽しめる生活を提供した。	業務見直し、情報共有
短期入所	急な利用希望に対して可能な限り調整し柔軟な対応に	情報共有、関連機関との
	より利用者の定着・拡大(稼働率 97%)につながった。	連携強化、質の向上。
養護	利用者参加型の行事食等により食の満足度を上げた。	利用 100%への取組み
	措置が慎重になる一方、緊急な理由による入所者を受け	生活支援と介護の両立。
	入れた。	
自立支援シ	熱中症予防他、緊急利用を含め、柔軟な受け入れを行っ	利用対象者の発掘。滞在
ョート	た。また養護入所への入り口機能を果たした。	中の過ごし方の提案。
地域包括支	委託事業を包括チームで連携し取り組んだ。介護予防事	チームとして継続した支
援センター	業の充実により大幅な参加者の増加があり地域の中で	援のため、詳細な記録の
	介護予防や健康づくりの意識が向上した。	充実。
事務	事務局との連携と関係部署との相互に協力できる体制	基準に即した円滑な請求
	を構築し業務の効率化を図った。	業務の継続
管理	サービス提供を担う人員(生活相談員・介護非常勤職)の	適正な人員と非常勤の勤
	雇用により、安定した稼働率が得られた。	務管理。設備の修繕計画

### Ⅲ リスクマネジメント

- 1) 苦情・第三者評価
  - ・苦情 4 件 速やかな解決に至った。10 月に実施した第三者評価により利用者の声(満足度)を伺えた。
- 2) 感染症等予防・蔓延防止の取組
  - ・断続的にインフル $\mathbf{A}$ ・ $\mathbf{B}$ 型の感染が職員にあったが、徹底した持込まない取組みと手洗い等対策により利用者への感染に至らずに済んだ。
- 3) 事故対応
  - ・事故17件(転倒・配薬等)があった。そのつど繰返しの点検確認と検証が重要であることを申合せた。

## 4) 防災

- ・災害時の初動活動訓練の反復と火元責任者の日々点検を実施し、防災意識を向上させた。
- 5) 勤務管理
  - ・看護職の基準内配置の維持に苦慮した。

### IV 事業別年間の実績概要

1)入所部門 (単位:名)

	定員	利用者 (実施数)			入院者数		新規利用		利用終了		平均			
		延べ人 数	月平均	稼働 日数	稼働 率 (%)	実人数	月平均	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢 (歳)	待機者
特養	80	27327	2277	365	93.6	44	3.7	18	1.5	17	1.4	3.2	84.1	208
短期入所	10	3574	297.8	365	97.9	_	_	48	4	_	_	2.8	83.7	_
養護	50	15956	1329	365	87.8	13	1.0	6	0.5	7	0.5	2.1	85.0	
自立支援	4	892	74	365	61	_	_	18	1.5	15	1.3	1.0	83.7	

<sup>※</sup>待機者は、申込書を提出したことがある者を言う。

## 2) 支援センター部門

(単位:名)

利用者(実施数)				新規利用		利用終了		平均		
	延べ	月	年間	月平均	実	月	実	月	要介護	年齢
	人数	平均	実人数	実人数	人数	平均	人数	平均	度	(歳)
地域包括支援 センター (総合相談)	2669	222.4	423	35.3	149	12.4	40	3.3		_
介ころばん護体操教室	654	54.5	79	6.6	35	2.9	79	6.6	ĺ	_
予女性のた防めの体操推教室	308	25.6	29	2.4	7	0.6	29	2.4	l	_
進ひと口・事忘れん・業ハッピー教室	670	55.8	67	5.6	20	1.6	67	5.6	_	_
地域デイ	2044	170.3	59	4.9	17	1.4	5	0.4		_
予防居宅	719	59.9	87	59.9	29	2.4	29	2.4	1.63	80.9

## 3) 苦情・事故報告

	延べ件数	月平均件数	解決件数	未解決件数	対応中件数				
利用者からの苦情	1	0.08	1	0	0				
事業所からの苦情	0	0	0	0	0				
職員からの苦情	0	0	0	0	0				
その他苦情	3	0.25	3	0	0				
施設内事故	17	1.42	17	0	0				
施設外事故	0	0	0	0	0				